

# 銅山だより

№. 66

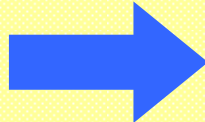
発行 平成23年6月  
国土交通省 東北地方整備局  
新庄河川事務所  
銅山川砂防出張所



## 平成23年度の工事紹介

### 横道沢第五砂防堰堤改築工事

引き続き、砂防堰堤改築の工事を進めていきますので、特に豊牧地区の皆様には工事用車両の通行等でご不便をおかけする部分もあると思いますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。



### 豊牧地すべり豊牧地区対策工事

集水井の防護柵の設置や老朽化した排水路のリフレッシュ（入替）等を実施する予定ですのでご協力お願いいたします。

### その他の工事

上記以外の工事も実施される予定ですので、今年度も工事へのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。何か土砂災害の兆候や工事等に関してお気づきの点などありましたら、銅山川砂防出張所へ情報提供いただきたくお願い申し上げます。



## 6月は土砂災害防止月間です！ 余震や大雨による土砂災害に注意！

平成23年3月11日に発生した東北太平洋沖地震による影響で、専門家が警告しているように今後しばらくは大きな余震が発生する可能性があり、また、これまであまり地震発生の可能性が少ないとされている地域においても活断層のズレによる新たな地震発生も懸念されているところです。地震やH23年の豪雪の雪解け等で地盤が緩んでいる上に、梅雨や台風等の降雨により、土砂災害が発生する危険性が高まっていると考えられ、立谷沢川支川の濁沢で5月22日に発生した大規模土砂崩落など、各地で地すべりが多発しております。なお、6月は「土砂災害防止月間」であることから、土砂災害防止の意識を高めて、地震発生時や大雨時には十分注意して、早めの避難を心がけるように努めて下さい。



河川の急な増水に注意してください！



これから本格的に河川を利用するシーズンに入ります。川遊びや釣りなどで河川に立ち入る際は、局部的豪雨（いわゆるゲリラ豪雨）などにより急に増水して来ることもありますので、上流で雨が降っていないかどうかや周辺の天気予報をこまめに確認して、水難事故防止に努めてくださいますようお願いいたします。

銅山川・角川流域の安全・安心のため、今年度も事業に取り組んでまいります。近隣住民の皆様には、工事中は何かとご不便な点もあろうかと思いますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 東日本大震災における支援活動

3月11日、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、新庄河川事務所（以下、新庄河川）管内では、最大震度5強を観測しました。このたびの大震災により、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

この地震により、東北地方をはじめとする各地に甚大な被害が生じましたが、新庄河川管内の河川・砂防施設、土砂流出、地すべり等の被害、異常はありませんでした。

東北地方整備局では、特に被害の大きかった岩手・宮城・福島県を中心に、震災直後から全整備局の支援を受け国道や航路の啓開作業による交通網の確保、被災した河川堤防や海岸の緊急復旧など、住民の安全確保のため、全力で取り組んできました。

新庄河川でも、排水ポンプ車や通信機器の貸与及び自治体の情報収集や調整のため被災地へ職員を派遣しました。また、緊急支援物資の提供等も行ってきました。

## 災害対策現地情報連絡員（リエゾン）

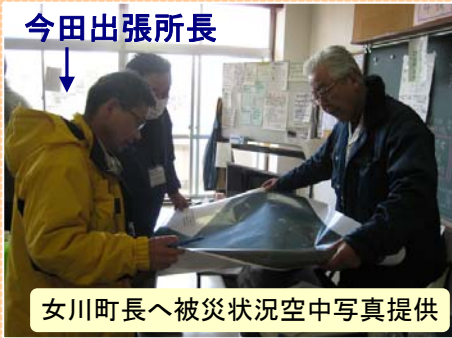
～銅山川砂防出張所からも2名の職員が派遣～

## 石巻市・女川町へ職員を発災翌日から派遣

新庄河川では、発災翌日（3月12日）から宮城県石巻市へ災害対策現地情報連絡員（通称：リエゾン）として職員を派遣し、被害状況等の各種情報収集と関係機関との連絡調整を行い、3月21日からは派遣先を女川町に変更し、延88名の職員を派遣しました。

今回の災害は、被災地自治体の庁舎や通信施設、さらに職員に大きな打撃をもたらしており、持参した衛星電話及び衛星通信用車は被災地域の重要な通信手段となりました。

リエゾンは、町の要望等を東北地方整備局に逐次連絡し調整を行うと共に、不足している資機材・物資の調達をはかり、仮設住宅の適地のアドバイス等、技術的な対応を行いました。



今田出張所長

女川町長へ被災状況空中写真提供



仮設住宅の適地アドバイス

## 排水ポンプ車を派遣

## 290万m<sup>3</sup>を排水

～湛水区域の解消と行方不明者捜索に貢献～

新庄河川では、津波により湛水した地域の排水のため、3月24日より宮城県石巻市・名取市・亘理郡亘理町・亘理郡山元町、福島県相馬市等へ排水ポンプ車4台と照明車2台を派遣し、排水作業を行いました。

排水作業は24時間体制で実施し、排水量は290万m<sup>3</sup>（東京ドーム約2.3杯分）に達しました。この排水作業は復旧作業及び行方不明者の捜索にも貢献しました。



排水作業状況

## 北上川の緊急復旧工事を支援

## 小野技術係長

～津波によって破壊された堤防の復旧工事に貢献～

新庄河川では3月下旬に、北上川下流河川事務所の飯野川出張所に応援要員として、当出張所技術係長の小野を含む2名の職員が派遣され、堤防の緊急復旧工事に支援し、復旧活動に貢献しました。

現地では工事に必要な資材や燃料や生活用品が不足する中、職員はもちろんのこと、施工業者も復旧工事の進捗に懸命に取り組んでいました。堤防が破壊された区間は、北上川の河口付近だけで約5kmにのぼっており、凄まじい津波の爪痕が確認されました。なお、現在も新庄河川から仙台河川国道事務所へ職員を1名派遣し、災害復旧業務を行っています。



緊急復旧工事が進められていた北上川河口付近

北上川

元の堤防ライン

堤防が津波で無くなっている

## ★ お問い合わせ先 ★

「銅山だより」に関するご意見や出張所の仕事に関する質問などをお待ちしています。お気軽にご連絡下さい！

## 新庄河川事務所 銅山川砂防出張所

〒996-0212 最上郡大蔵村大字清水字堀川 2346

(TEL) 0233-75-2204

(FAX) 0233-75-3023

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>